



# 毛呂山中学校区学校運営協議会だより

( 毛呂山中・毛呂山小・泉野小 )

令和6年11月発行 第3号 毛呂山中学校区学校運営協議会

令和6年10月30日(水)に、毛呂山中学校において、第3回毛呂山中学校区学校運営協議会を行いました。

最初に、毛呂山町教育委員会の高沢 佳弘教育長がご挨拶されました。高沢 佳弘教育長は、「毛呂山町の子供たちは、一人一人が着実に伸びている。地域行事では子供たちが活躍している。今後、毛呂山町立小・中学校編成計画を着実に推進していきたい」とお話しされました。次に、毛呂山町教育委員会事務局から毛呂山町立小・中学校編成計画に関する説明会の実施状況や10月に実施した「毛呂山町立小・中学校編成計画についてのアンケート」についてご説明がありました。説明会に参加された皆様の反応は概ね好意的とのことでした。また、YouTube で配信されている毛呂山町立小・中学校編成計画(案)の説明動画について、再度ご案内がありました。右の二次元バーコードから見られますので、ぜひご覧ください。



【YouTube】毛呂山町立小・中学校学校編成計画(案)説明動画  
高沢 佳弘教育長が出演され、ご説明されています。



さて、今回は、各学校の課題について校長からご説明いただきました。その後、各委員からご意見等をいただきました。簡潔にまとめ、順にお知らせいたします。

## 1 毛呂山中学校



本校の課題は「不登校生徒総数の削減」です。そこで、教育相談の機会と生活アンケートの方法を工夫・拡充し、早期発見・早期対応に取り組んでいます。また、毎週水曜日に教育相談の会議を行い、組織的な対応に取り組んでいます。

安心できる取組であり、欠席者も生活アンケートに答える機会を確保してほしい。	子供に目標をもたせることが大切であり、先生方と生徒との距離を縮めてほしい。
小中の交流が効果的であり、学力向上と学習習慣の定着を大切にしてほしい。	学校と家庭の連携を工夫して、一人一人に合った方法で対応してほしい。
教育相談の会議がよく機能している。これからも学級経営を充実させてほしい。	今は、自信がもてない子供たちが多い。褒めて伸ばすことを大切にしてほしい。
校長が地域に足を運んでくれるので学校が明るい。これからも続けてほしい。	個別対応がとてもよいと感じる。生徒一人一人に粘り強さを育ててほしい。

## 2 毛呂山小学校



本校の課題は「小中一貫校開設に向けた気運をどのように高めていくか」です。そこで、学校だよりやホームページで広報活動を行っています。また、学校評価（保護者アンケート）を年2回行い、教育活動の工夫改善に努めています。

保護者アンケートを年2回行うのはよい。ホームページをより充実させてほしい。	気運を高めるには、発信力が大事である。成果は少しずつ表れてきていると感じる。
アンケートでは反対意見も大切である。町でも小中一貫校の広報を工夫してほしい。	小中一貫校にどの程度期待しているのかが重要である。地域の協力も大切にしたい。
昔と今の現状を比べ、小中一貫校のよさを説明していくことが効果的と感じる。	保護者アンケートを年2回行うと課題が見えてくる。より小小連携を進めてほしい。
広報活動をよく工夫している。今後、取り組みたいことを明確にして進めてほしい。	小学校同士で保護者アンケートの内容をそろえてみる取組もよいのではないかな。

## 3 泉野小学校



本校の課題は「配慮を要する児童への対応」と「学力向上」です。そこで、保護者・児童と連絡を取り合い、ケース会議の実施や信頼関係づくりに努めています。また、学校課題研究や年2回の公開授業で教員の授業力を高めています。

家庭学習が大事である。保護者は学校を頼りにしている。取組を継続してほしい。	小中一貫校で学力が下がるという不安は払拭したい。常に高みを目指してほしい。
日頃から地域を巻き込んだ教育活動ができるとよい。宿題の量も工夫してほしい。	保護者が学校に頼りすぎる傾向がある。学ぶよさを子供たちに十分味わわせたい。
不登校児童は長い目で見てほしい。互いに相談し合える教室の雰囲気大切である。	児童をきめ細かく見てほしい。また、保護者へのケアも大事にしてほしい。
自分で考え、行動できる力を育てるために学習は大事である。学力を高めてほしい。	一人一人の実状に応じた配慮をしている。子供たちの学力向上のお手伝いをしたい。

次回は2月に行います。各学校の学校評価について会議を行う予定です。なお、以下の二次元バーコードから各学校のホームページを見ることが出来ます。ぜひご覧ください。

毛呂山中学校区 各学校ホームページ ～ ご覧ください ～		
毛呂山町立毛呂山中学校 	毛呂山町立毛呂山小学校 	毛呂山町立泉野小学校 